

2021年度 法科大学院

第2期入学試験問題

3時限

刑法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[刑法]

次の事例におけるX、Yの罪責について論じなさい（特別法は除く）。

（事例）

Xは、航空管制官の实地訓練をするための監督者、Yはその实地訓練をしていた者である。ある日、Yは、航行中の航空会社Jの旅客機907便と958便が静岡県焼津市上空で異常接近しつつあることを警報により認知し、両機の接触・衝突等の危険を避けるため、巡航中の958便を降下させる意図の下に便名を言い間違えて、上昇中の907便に対して降下を命じるという管制指示を行った（以下「本件降下指示」という。）。Xも、その言い間違いに気付かず、便名を誤った管制指示を是正しなかったところ、両機に装備されていた航空機衝突防止装置（以下「TCAS」という。）が作動し、907便では上昇による回避措置の指示（以下「上昇RA」という。）が、958便では降下による回避措置の指示（以下「降下RA」という。）が発出されたが、907便は上昇RAに従うことなく本件降下指示に従って降下を続け、他方958便は降下RAに従って降下したため、両機がほぼ同高度のまま共に降下しながら急接近し、衝突を避けるため907便が急激な降下操作を行った。その結果、907便の乗客ら57名が重軽傷を負った（以上の、乗客らの傷害の事実も含めて「本件ニアミス」という。）。